日本国教祭庁

①灾用新案出国公伍 昭44-15392

@実用新室公報

四公告 昭和44年(1969)7月3日

(全2页)

日田性体を有する前掛け枠付き歴史

四次 0 四 四 1 1 3 5 9 1 7 .

の出 旗 昭41 (1966) 4月20日

四号 忠 老 小物量政

鎌倉市由比を採可1の7の14

小柳盆径 阄

東京都文京区高田老松町76

勿出 默 人 株式会社会原金

東京都中央区京橋2の1の3

代 安 安 小物重政

一个作 理 人 弁理士 加度格

図面の簡単な説明

図は本実磁性体を有する前掛け枠付き匹依を示 15 するので、第1回は設設本体の兵徒図、第2回は 前掛けグラスを示す無視図、第3回は四種太体に 前掛けグラスを組み合わせた実施設理を示す料理 図、第4回は部品の金具を示す層視図、第5回は

考定の詳細な説明

この考案は歴史の本体に前掛けずラスを簡品な 手段で差配自在に取り付けられる反馈に係わるも

一般に使用している頂紋の木体にサングラス、 **減光グラス等を差別自在に取り付けることは従来** 行なわれている。しかしこれらは前掛け用メタス にほ抗本体に取り付けるための特体が退焦してあ るため、使用しているほ姓をその名主取りはずし て政節掛け用グラスを収斂本体に参照したければ ならない

本案は反抗本体の前面の反放枠に具備した金具 及び前掛けプラスに具備した既性体によってから

ようにしたものである。

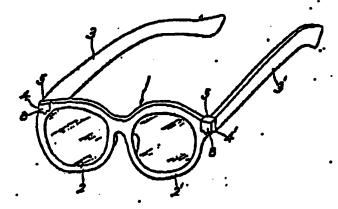
次に本家を図について取明すると、駆放本体1 の匹食符2 . 2 / と写接け作3 . 3 / の支点取ち 集春郎4 . 4' の近くK、第4图及び第5团に示 5 十金具5を設けるものであるがは会具5は凹状に 皮形されていて英国 5 の速宜位配にボルト7 が政 けられ、又安何をはほぼ平らな形状をしている。 そしてこれを妖者郎4・4/ 付近に差別自在に取 り付ける。又前掛けグラス9は第2回に示す如く ₩ 現就本体1に取り付けた前位の金具5に対向する 位置即ちグラス枠12.121の所領に板状の磁 住体10.10/ 七具関しているものである。そ して、かゝる及役本体と勧掛けグラスとを組み合 わせて使用する。

この考案は凹状の会具5の群11を展技本体1 の設就枠2,21と耳掛け棒3,81の銃委節4 .4! の近くに嵌投し、裏切のポルトプで止め付 けかつ前掛けグラス目を、その配性体10.10 / の魅力によって放金系5に放送するものである 面して本案によれば仮住を使用している時、サ ソグラス成いは放光グラス時の前掛けグラスまを 区時間は太体1に自在に取り付けたり取り外した りするととができるのではる便利である。又、本 案の免其をはポルト7によって区技本体1の民僚 枠2・21に取り付けてあるので取りはずしが既 平にできるものである。 .

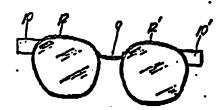
実用新変量を放水の転開

「低度本体1の低度件2.1/2耳接锋3.3/ との銃器部4・41の近くに、裏側の遺立位属に ボルトフを設けて景配合在とした凹状の会長5を 取り付け、放金具5の安保にグラス件12,12 / の所気に板状の磁性体19.18/ を具備した 抑掛けグラスロを会談自在に配会するようにした る点を是正して、何易な手段によって宏見し持る。ことを特徴とする前掛けアラス付き収載。

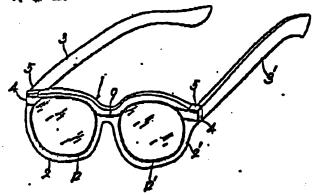
才/因



· #2图



23 图



沙4図







Sho 44-15392

Eyeglasses with front-mounted glasses, characterized in that near frames 2, 2', temples 3, 3' and hinges 4, 4' of body 1 of the eyeglasses, a bolt 7 is provided at an appropriate place on the back side and a concave metal portion 5 is detachably mounted thereon, and that on the front side of said metal portion 5, front-mounted glasses 9, which comprise sheat-like magnetic bodies 10, 10' at both sides of their frames 12, 12', are magnetically attached in a detachable manner.